

令和7年度 島尻（しまじり）特別支援学校 校長あいさつ

幼児・児童生徒の皆さん、保護者等・地域の皆様をはじめ、本校のホームページをご覧頂いている皆様、本校ホームページにアクセスいただきありがとうございます。

島尻（しまじり）特別支援学校（とくべつしえんがっこう）は、豊かな自然に囲まれた沖縄南部（島尻群）の中心地にあります。就学区域は南風原町、豊見城市、糸満市、南城市、八重瀬町、西原町（中頭郡）、与那原町ととても大きな学校です。

本校は、知的及び肢体不自由に障害のある幼児・児童・生徒の教育に取り組む特別支援学校で、幼・小・中・高等部があり、寄宿舎も設置しています。昭和54年4月に島尻地区の知的障害教育を担う学校として開校し、平成23年度から肢体不自由教育を併設するなど、45年の歴史を刻んでおります。

校訓に「1. 自愛 2. 友愛 3. 博愛」を掲げ、日々の生活の中で「1. 自分のことが好きになること。2. お友達のことが応援できること。3. みんなのためにできることを増やすこと。」という意味合いを込めています。

令和7年度の本校教育における「知・徳・体」の育成として、「知」は自ら考え、表現する子（自己選択・自己決定・自己責任）、「徳」は心優しく、思いやりのある子（道徳心、公共心、自律心）、「体」は身体を鍛え、粘り強い子（社会に出る体力、精神力、持久力）としました。幼児児童生徒の将来の「自立・社会参加」を目指し、「学校の主人公は一人一人の子ども」として子どもを中心に据えた教育実践に努めて参ります。

幼児児童生徒の皆さん

先生方全員が、チーム島尻で一人一人を応援をします。

「島尻で勉強することが、楽しい。」「島尻に行くことが楽しい。」「島尻で自信がついた、強くなった。」と実感できるような授業に取り組みます。

保護者等・地域の皆様・関係の皆様

本校職員は、各学部の学びの接続、学びの連続性・系統的な教育方針の下、幼児児童生徒の主体的な学びや自己表現・表出できる授業作りを実践し、一人一人の「知・徳・体」の育成、友だちや先生、保護者と共に成長すること等を目指して参ります。

今年度も継続し、県立真和志高等学校内に分教室「ゆい教室」を設置し、共生社会の形成及びインクルーシブ教育システムの構築に向け、障害のある生徒と障害のない生徒が共に学ぶ仕組みと、一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導の充実に向け、高等学校における中等度の知的障害教育の在り方について取り組んでいます。

保護者及び地域の皆様、県教育委員会・関係機関の皆様におかれましては、本年度も本校教育への御理解と御支援をお願いするとともに、引き続き幼児児童生徒の成長を見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和7年4月

沖縄県立島尻（しまじり）特別支援学校

校長 岡越 猛（おかごし たけし）